

新約釈義（エペソ書）

服部 尚

シラバス

I. クラスの目標

- A. 生徒は、ギリシャ語新約聖書釈義の原則を知ること。
- B. 生徒は、ギリシャ語新約聖書釈義の道具を知り、釈義に用いること。
- C. 生徒は、ギリシャ語聖書釈義の決められた手順をエペソ書のテキストを用いて、釈義ペーパーを書くこと。
- D. 生徒は、ギリシャ語新約聖書を聖書講解に用いる基盤を作ること。
- E. 生徒は、父・子・聖霊の三位一体の神様との関係がさらに深められること。

II. 授業の進め方

エペソ書のギリシャ語聖書を読みながら釈義を学ぶクラスとする。

III. テキスト・参考文献

- A. G. D. フィー、新約聖書の釈義 永井竹司訳、教文館、1998
- B. H. Hoehner, Ephesians, Baker Academic, Grand Rapids, 2002
- C. ハットソ、W.ロビンソン、講解説教入門、島田福安訳、いのちのことば社、1987
- D. B.M.メツカ、新約聖書の本文研究 橋本滋男訳、日本キリスト教団出版局、1999.
- E. Daniel B. Wallace, Greek Grammar Beyond the Basics, Zondervan Publishing House, 1996.

IV. コースの課題

- A. リーディング:決められた箇所を各クラスの前までに読むこと(ギリシャ語聖書の場合は訳してクラスに備えをする)(10%)
- B. クラスで学ぶエペソ書のテキストで釈義に重要と思われる問題点を2つ選び、注解書を2冊は参考にして解決を示しクラス後に提出する(10%)
- C. スケジュールされている4つの提出物をクラス後に提出する(55%)
- D. エペソ4:7-16の釈義ペーパーを書くこと(30%)

V. コースの評価:60点以下はFで取り直し。(A+=98, A=95, A-=92, B+=88, B85, B-=82, C+=78, C75, C-=72, D+=68, D=65, D-=62, F=60)

VI. スケジュール

クラス 1 クラスの説明 エペソ 1:1-14
フィー PP.27-51、64-99、114-122、142-154
釈義アイデア：ロビンソン pp.38-64
提出物1：オーバービュースタディー（エペソ書）10%

クラス 2 本文批評の手順 エペソ 1:15-23
本文の確定：マカ - 新約聖書の本文 & フィー PP.100-113
釈義問題1 1:10の「一つに集められる」の解釈

クラス 3 ワードスタディーの手順 エペソ 2:1-22
ワードスタディーの手順 フィー PP.123-141
提出物2：エペソ 1:15-23の釈義アウトライン10%
提出物3：本文批評の実践（エペソ 5:9）15%

クラス 4 ワードスタディーの手順 エペソ 3:1-21
提出物4：ワードスタディーの実践：3章の "μυστηριον" 20%

クラス 5 エペソ 4:1-32

クラス 6 エペソ 5:1-33

クラス 7 エペソ 6:10-20

エペソ 4:7-16の釈義ペーパー 30%

***** 夏期休暇 *****

クラス 8 エペソ 6:21-24

期末試験なし